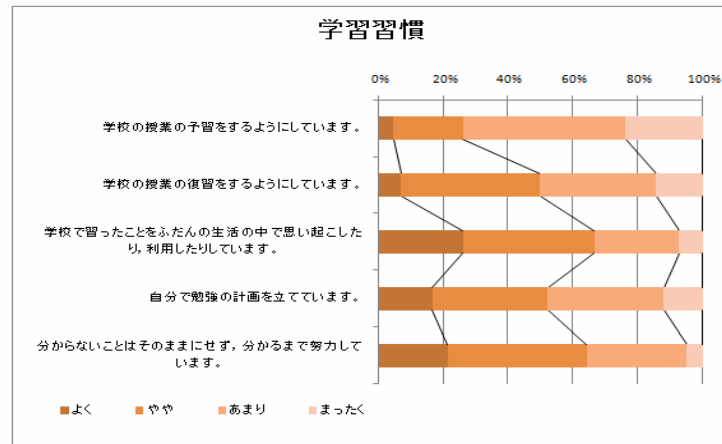


2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

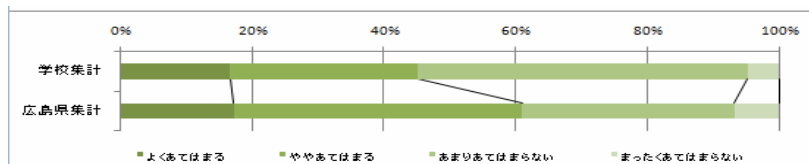
(1) 生活・学習



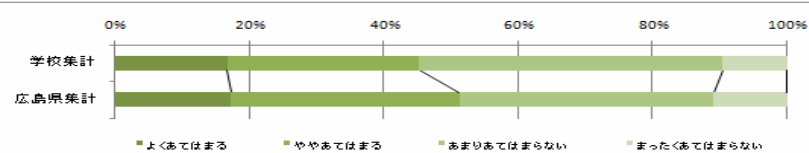
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	学習習慣は、H25と大差はなかった。他項目では、「理由を考える、理由をつけて説明する」がH25より割合が低い。(10P~20P)	・授業において、理由を考えさせたり、説明させる活動を意図的に増やしていく。	2	80%	生徒アンケート調査(理由を考えている、理由をつけて話している生徒の割合)	1月		
全国	家庭での学習習慣が身につけていない。(予習についての肯定的自己評価27.0%、復習についての肯定的自己評価45.9%)。	・宿題の与え方を適切に管理。 ・宿題をやっけてこない生徒への居残り学習等、宿題の徹底。 ・1日90分を目標とさせる。 ・保護者への周知、協力要請。	3	80%	生徒アンケート調査(学校の授業の復習をするようにしている生徒の割合)	1月		

(2) 教科

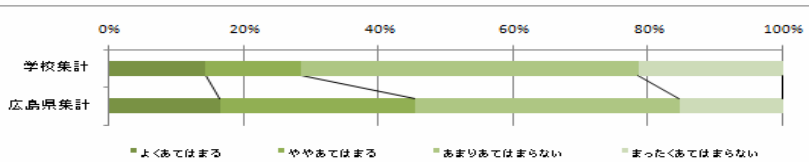
国語の授業では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしている。



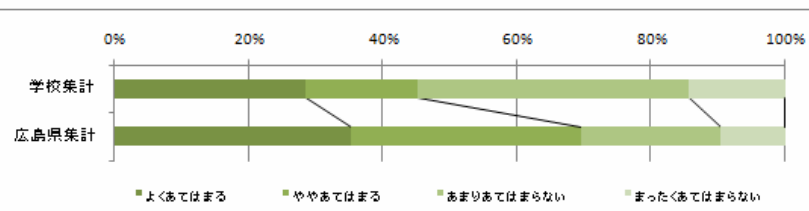
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由を挙げて説明している。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしている。



英語の授業はよくわかる。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	◎H25は60.5%であるのに対し、H26は45.2。他項目は増加しているので、目立つ。	2	60%	生徒アンケート調査	1月		
	全国	◎H26は64.8%であり、3年生は前年度より4ポイント増加している。	3	80%	生徒アンケート調査	1月		
数学	基礎・基本	◎H25は48.6%であるのに対し、H26は45.2。大差はないが、他項目に比べて継続して割合が低い。	2	60%	生徒アンケート調査	1月		
	全国	◎「根拠を理解するようにしている」については、81.0%と高い数値である。	3	85%	生徒アンケート調査	1月		
理科	基礎・基本	◎H26は35.1%であるのに対し、H26は28.6%。2年連続で、特に低い項目となっている。	2	60%	生徒アンケート調査	1月		
英語	基礎・基本	◎H25は67.6%であるのに対し、H26は45.2%。他項目に大差がないので低下が気になる。	2	80%	生徒アンケート調査	1月		